

令和 5年10月「月報」

1 はじめに

防衛省は8月31日に令和6年度概算要求を行いました。

要求額は7兆7,385億円。令和4年12月に閣議決定された「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」に基づき、計画期間内の防衛力抜本的強化実現のため、令和6年度に着手すべき事業を積み上げたものです。

防衛力を支える要素としての人的基盤の強化については、1,325億円（前年比460億円増）が要求されています。

人的基盤の強化の中での主な要求としては、「厳しい募集環境の中においても、優秀な人材を安定的に確保するため、募集業務の充実・強化を図る。」として、「募集業務の充実・強化」に21億円が要求されている他、再就職支援の充実・強化、ハラスメント防止対策が要求され、また、海自艦艇乗組員の確保策、女性活躍、働き方改革及び生活勤務環境改善の推進等が要求されています。詳しいことは「おやばと」をご覧ください。

2 防衛省・自衛隊の活動

- (1) 9月14日午前、浜田靖一前防衛大臣が「全国25万人の自衛隊員はこの国の宝。」との言葉を残して離任され、その午後、木原稔（きはらみのる）防衛大臣が着任されました。防衛副大臣には宮澤博行（みやざわひろゆき）衆議院議員、防衛大臣政務官には三宅伸吾（みやけしんご）参議院議員、松本尚（まつもとひさし）衆議院議員が就任され、新たな体制がスタートしました。
- (2) 8月末に出国した東ティモール国防軍に対する能力構築支援要員15名の陸自隊員は、ハリィ・ハムトゥック23（現地語で「共に築く」）に参加し、豪、米、ニュージーランドと連携して、東ティモールの道路補修や東ティモール軍が保有する車両の整備といった分野で指導助言を行っています。
- (3) 海上自衛隊は、4月下旬に開始した「令和5年度インド太平洋方面派遣」を9月17日に終了しました。長期にわたる訓練に参加したのは、護衛艦「いずも」「さみだれ」「しらぬい」「しもきた」「くまの」、搭載航空機×4、LCAC（エアクッション型揚陸艇）×2、潜水艦×1です。

帰国間もない「いずも」の乗員お二方を取材した内容を来春発行のDW24に掲載しますのでご期待ください。



↑ LCAC

(4) 航空自衛隊は、8月25日から30日までの間、F-35Aを含む戦闘機等の米国（グアム アンダーセン基地）及び豪州（ティンダル空軍基地）への機動展開訓練を実施しました。



本訓練は、F-35Aの初の国外展開であり、H校距離航法能力及び空中給油能力の向上を図るとともに、米空軍及び豪空軍との相互運用性向上及び相互理解の促進を図る目的で実施しました。

← アンダーセン基地で、米空軍隊員が見つめる中でのF-35Aへの燃料補給

また、本訓練は日豪円滑化協定発効後、空自として初適用の訓練であり、F-35Aがティンダル空軍基地で、



ティンダルの夕日を浴びて翼を休めるF-35A

グレッグ・モリアティ豪国防次官及び鈴木在豪日本国大使に出迎えられる等、日豪の防衛協力・交流がさらに進展していることを示すものとなりました。

3 家族会の活動

(1) 令和5年度 地域協議会を開催

ア 中国地域協議会：9月7～8日、呉市において中国地域協議会を開催しました。



福谷 中国地域協議会会長はじめ、中国地域の各県家族会長、副会長、事務局長等の役員、関係者が参加するとともに、本部から鍛冶地域担当委員が出席しました。会議には自衛隊広島地方協力本部長垣内1海佐他募集課長等の地本隊員、第13旅団からは第一部長小林2陸佐他、岡山地本からは広報渉外班長野口事務官他が参加し、本部委託テーマ「家族支援協力態勢の整備」について活発な意見交換が行われ、また、厳しい募集環境を打開すべく、5年度自衛隊家族会団体表彰最優秀賞受賞県である鳥取県が「募集協力活動の具体策」について発表しました。

会議、記念式典終了後、呉地方総監二川海将の「安保三文書と海上自衛隊の現在」と題する講演を拝聴して見識を深め、続く懇親





会には、第13旅団長 徳永陸将補にもご挨拶いただいて、和気あいあいの中で懇親を深めました。

翌8日は、「大和ミュージアム・鉄のくじら館」班、「海自第一術科学校」班の2班に分かれて研修し、多大な成果を上げて終了しました。

広島地本のご支援有難うございました。

イ 九州・沖縄地域協議会：9月12～13日、熊本市において九州・沖縄地域協議会



を開催しました。12日は総会と西部方面総監部との連絡会同、夕食会。13日に部隊研修として新隊員教育を研修しました。総会には九州・沖縄地域の各家族会長、事務局長等が参加するとともに、本部から深津地域担当委員、自衛隊側から西部方面総監部募集課長が参加して事業報告や役員人事等の審議や家族会の現況と問題点について意見交換を行

い、西部方面総監部との連絡会同では、各地方協力本部長、西部方面総監部人事部長、人事課長、募集課長、援護業務課長、厚生班長、計画班長等が出席して、募集の現況や援護、家族支援、特に安否確認システムについて活発な質疑応答がなされました。

夕食会には総監部行政副長にも参加していただき、お目にかかる機会の少ない方々とのひと時を有意義に過ごしました。



ウ 北関東地域協議会：9月24～25日、群馬県渋川市で開催しました。

エ 南関東地域協議会：9月28～29日、茨城県土浦市で開催しました。

(2) 隊員の激励

ア 第53次派遣海賊対処航空部隊（9月6日）

野呂青森県家族会長、室谷八戸市家族会長が海自八戸航空基地を訪問し、第53次派遣海賊対処行動航空隊（司令：齋藤2海佐（第2航空群所属））を激励しました。齋藤司令は「派遣期間が長くなるので、隊員との定期的な面談により現在のモチベーションを維持して任務を完遂し、全員無事に帰国したい。」と抱負を述べておられました。



第2航空群司令

石川海将補

齋藤2海佐

イ 第46次派遣海賊対処行動水上部隊（9月27日）

樫本長崎県自衛隊家族会副会長、横尾前事務局長、吉田事務局長が、海上自衛隊佐世保基地で行われた出港行事に参加し、出航前の艦長、前任伍長を激励しました。

護衛艦「あけぼの」艦長 外川 2海佐率いる第46次派遣海賊対処行動水上部隊は、派遣隊員198名、海上保安官8名からなり、10時30分からの出国行事ののち、ご家族・友人・関係者等の沢山の方々に見送られて11時に佐世保港を出港しました。中東ソマリア沖アデン湾への海賊対処と民間船の安全確保などに役立てる情報収集活動のための任務は約半年の長期にわたり、任務無事遂行へのご祈念をお伝えしました。



艦長室にて外川艦長、山崎前任伍長と



激励／懇談

4 事務局からの連絡

(1) ボランティア保険料の支払いについて

令和4年10月から更新したボランティア保険が令和5年9月末で満期（1年）を迎えます。各県家族会の保険料支払いにつきましては、事務局からの「保険料請求のご案内」が、お手元に届き、確認を頂いた後に10月～12月の間に支払いをお願いします。

(2) 各種希望数の確認について

下記について要望数をそれぞれの時期までに事務局業務担当の今井へご連絡下さい。

ア 入校・入隊者激励会用「おやばと」（無償配布）

入校・入隊者激励会用「おやばと2月号」希望数を**11月30日(木)**まで

イ 北方領土返還要求署名用紙

令和6年度希望数を **11月30日(木)** まで

(3) 令和5年度「活動状況等調査」の提出について

既に家族会本第19号(令和5年4月14日)にて**令和5年11月1日(水)**を提出期限としてお願いしております。あと2か月余りですが、提出の程よろしくお願い致します。

以上